

2008年度事業報告書

財団法人 武田科学振興財団

I. 事業の状況

当財団の2008年度の各事業は、計画に沿って着実に実施した。

本年度は、研究助成事業では、財団設立45周年を記念して「武田報彰医学研究助成」を創設したのをはじめ、近年創設した新規助成プログラム〔特定研究助成、シンポジウム研究奨励、杏雨書屋研究奨励、高等学校理科教育振興奨励、継続助成（医学系研究奨励、薬学系研究奨励の交付者を対象）〕の充実・定着を図った。

さらに研究助成事業充実のため、生命科学研究助成は、2008年度より公募方式に変更するとともに15件に増件した。医学系研究奨励〔基礎系、臨床系〕・特定研究助成Ⅱ〔精神疾患・脳疾患〕については、応募数の増加に伴い、採択率25%を目途に増件し、医学系研究奨励基礎系・臨床系の計画は前年度の各25件からそれぞれ、40件程度、35件程度に変更し、特定研究助成Ⅱの計画は前年度の10件から20件程度に変更した。

外国人留学研究者支援事業では、ベトナムにおける本事業の開始10周年を記念して現地で記念行事を行い、杏雨書屋事業では、開館30周年を記念して特別講演会・特別展示会を開催した。

12月1日には、新公益法人制度改革関連3法が施行された。公益財団法人への移行認定申請に向け、最初の評議員の選任、申請書類に添付する定款等の諸規程の改定等を行った。

(1) 科学技術に関する研究機関及び科学技術の研究に従事する者に対する奨励金の交付 (研究助成金等)

- ① 武田報彰医学研究助成は、理事、評議員、名誉顧問、武田医学賞選考委員、武田医学賞受賞者、学士院会員〔第7分科〕、学士院賞受賞者〔1999年以降医学関連〕の80名から推薦された、研究室立上げ3年未満の新進医学系研究者を対象に、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、1件3,000万円5件 計1億5,000万円を交付した。
- ② 生命科学研究助成は、生命科学分野の研究者を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、1件1,000万円15件 計1億5,000万円を交

付した。

- ③ 一般研究奨励は、生命科学分野の新進研究者を対象に、12 大学*に候補者の推薦を依頼し、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、各大学共 3 件、計 36 件を決定し、1 件 200 万円 計 7,200 万円を交付した。

*対象 12 大学：北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、
大阪大学、九州大学、琉球大学、慶應義塾大学、順天堂大学、
東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学

- ④ 医学系研究奨励は、医学系の新進研究者を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、基礎系研究 49 件、臨床系研究 33 件を決定し、1 件 200 万円 計 1 億 6,400 万円を交付した。継続助成は、本研究奨励の 2006 年度被助成者を対象に実施した。所定の継続助成交付申込書をもとに、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、基礎系研究 5 件、臨床系研究 6 件を決定し、1 件 300 万円 計 3,300 万円を交付した。

- ⑤ 薬学系研究奨励は、薬学系の新進研究者を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、40 件（うち 10 件は生薬学分野）を決定し、1 件 200 万円 計 8,000 万円を交付した。継続助成は、本研究奨励の 2006 年度被助成者を対象に実施した。所定の継続助成交付申込書をもとに、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ 5 件を決定し、1 件 300 万円 計 1,500 万円を交付した。

- ⑥ 報彰基金事業は、循環系疾患および糖尿病を克服するための研究を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、次の通り交付した。

- ・研究助成金として 1 件 1,000 万円 を 5 件 計 5,000 万円
- ・研究奨励金として 1 件 500 万円を 5 件、1 件 200 万円を 27 件 計 7,900 万円
- ・研究会等の開催支援金として 1 件 100 万円
- ・報彰基金研究奨励交付者(2004 年度～2006 年度交付者)を対象とした継続助成として 1 件 300 万円を 22 件 計 6,600 万円

報彰基金の交付総額は、1 億 9,600 万円となった。

- ⑦ 特定研究助成は、前年同様、研究機関を対象として、本邦の医学の発展に寄与する研究を対象に公募を行ない、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、1 件 5,000 万円 交付件数 12 件 総額 6 億円を交付した〔特定研究助成〔I〕2008〕。研究者を対象として、精神疾患・脳疾患に関する研究を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ、1 件 100 万円～500 万円 交付件数 20 件

総額 4,000 万円を交付した〔特定研究助成〔Ⅱ〕2008〕。

特定研究助成の交付総額は、6 億 4,000 万円となった。

- ⑧ シンポジウム研究奨励は、第 15 回生命科学シンポジウムに応募したポスター発表者を対象に、シンポジウム組織委員で構成する選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、研究奨励金として 1 件 50 万円 4 件 計 200 万円を交付した。
- ⑨ 高等学校理科教育振興奨励は、全国の高等学校およびそれに準ずる教育機関を対象として実施した。高等学校理科教育に対し大きく貢献すると考えられる教育研究・実践を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、振興奨励金として 1 件 30 万円 27 件 計 810 万円を交付した。
- ⑩ 杏雨書屋研究奨励は、杏雨書屋所蔵資料に関連する研究を対象に公募を行い、選考委員会の選考を経て理事会承認のうえ決定し、研究奨励金として 1 件 50 万円 5 件 計 250 万円を交付した。

以上により、研究助成の総額は 15 億 1,260 万円（対前年度実績 3 億 1,320 万円増）となり、交付件数は 322 件（対前年度 47 件増）となった。本年度も「武田科学振興財団研究助成金・奨励金贈呈式」を 11 月 12 日に実施し、255 名の出席があった。

(2) 外国人留学生に対する研究の補助(留学支援)

日本において医学・医療の分野で研究する外国人留学研究者に対する支援を行った。本年度は、7 指定国より 40 名、その他の国より 3 名、合計 43 名の留学生が来日し、留学研究補助費として総額 1 億 158 万円を交付した。

なお、1964 年度に本事業を開始して以来、2009 年 3 月末までに支援した外国人留学研究者の総数は 32 ヶ国から 1,194 名である。

本年度に来日した支援外国人留学研究者数は次ページの通りである。

〈2009年3月31日現在(来日ベース)〉

国 別	年度計画 (人数)	実 績 (人 数)				備 考
		本年度	前年度 繰 越	次年度 繰 上	計	
台 湾	6	5	0	2	7	本年度の1名が未来日。次年度の2名が繰上げ来日。
タ イ	6	6	0	0	6	
フィリピン	4	2	0	0	2	本年度の2名が未来日。
韓 国	3	1	0	1	2	本年度の2名が前年度に繰上げ来日済み。次年度の1名が繰上げ来日。
中 国	10	10	2	2	14	前年度の2名が繰越し来日。次年度の2名が繰上げ来日。
インドネシア	5	5	0	0	5	
ベトナム	4	4	0	0	4	
7指定国 小計	38	33	2	5	40	
上記7指定国以外	12	3	0	0	3	本年度は6名承認、2名が辞退、1名が前年度に繰上げ来日済み。
総 計	50	36	2	5	43	

本年度は、12月にベトナムのホーチミン市およびハノイ市を訪問し、選考委員と現地での公募・選考方法および今後の運営改善に向けた意見交換を実施すると共に、過去の留学研究者を招いて同国における本事業の10周年記念行事を開催した。現在、ホーチミン市とハノイ市の2箇所で開催している留学研究者の選考を、2010年度からはハノイ市のベトナム医師会に一本化することを決定した。

(3) 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞(武田医学賞)

7月3日開催された選考委員会において、10件10名の候補者につき9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、医学界において顕著な業績を挙げられた3件3名(次ページ参照)の褒賞を決定し、理事会の承認を得た。

受賞者には、11月12日(水)開催の贈呈式において、武田医学賞(賞状と賞牌と盾)および副賞(1件1,500万円)をそれぞれ贈呈した。

藤原 哲郎 博士

現 職：岩手医科大学 名誉教授

対象研究業績：新生児呼吸窮迫症候群の治療法の確立

宮園 浩平 博士

現 職：東京大学 教授

対象研究業績：TGF- β ファミリーのシグナル伝達とヒト疾患に関する研究

山中 伸弥 博士

現 職：京都大学 教授

対象研究業績：多能性幹細胞の維持と誘導

(4) 科学技術の振興に関する出版物の刊行（出版）

6月に「杏雨書屋」図書館開設30周年記念出版物として、「杏雨書屋所蔵 医家肖像集」600部を発行した。また同月に、機関誌「杏雨」11号を発行した。

2009年3月には「香要抄二」200部、「敦煌秘笈 目録冊」250部を発行した。

(5) 東洋医書その他図書資料の保管、整理及び公開（杏雨書屋の運営）

①保管・整理

複写179,037枚、複写製本1,552冊、補修82冊を行った。

②公開

閲覧者は316名（閲覧図書1,247部 4,746冊）、複写依頼は71名（複写部数162部、5,075枚）、展示室見学者は687名（特別展示会を含む）であった。

春季特別展示会は開館30周年記念展示会を4月14日（月）～20日（日）の間、財団2階展示室にて開催した（見学者381名）。

秋季特別展示会は10月27日（月）～11月1日（土）の間、「杏雨書屋の洋書」をテーマに開催した（見学者95名）。

③研究会

1)開館30周年記念講演会「杏雨書屋の30年」を以下の通り行った。

演題：杏雨書屋所蔵 磧砂版大藏経の刊記

講演者：古泉圓順氏 所属 四天王寺国際仏教大学 名誉教授

演題：日本の化学を創めた宇田川榕菴と杏雨蔵書

講演者：芝 哲夫氏 所属 大阪大学 名誉教授

演題：「水谷本草」とアジアの進化論

講演者：宮下三郎氏 所属 杏雨書屋 元副館長

日 時：4月19日(土) 15:00～18:30

場 所：リーガロイヤルホテル（大阪） 3F ロイヤルホール

参加人員：243名

2) 第22回研究会を以下の通り行った。

演題：江戸時代の薬物辞典 レキシコンとドロゲレイン

講演者：松田 清氏 所属 京都大学大学院人間・環境学研究科 教授

演題：エドワード・ジェンナーと牛痘種痘法

講演者：松木明知氏 所属 弘前大学 名誉教授

日 時：11月1日(土) 13:00～15:00

場 所：ヒルトン大阪 5F 桜山

参加人員：103名

④稀覯本購入

松木文庫 207点

一神論・序聴迷詩所経

曲直瀬道三自筆「啓迪集巻第一・二」

森鷗外書簡一卷

ベルセリウス「化学教書」(蘭訳版)

ユスタキウス「解剖図表」(蘭訳版)

(6) 科学技術の研究を助成振興する目的を達成するために必要な事業(シンポジウム)

第15回 武田科学振興財団生命科学シンポジウム The 15th Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience を開催した。

テ ー マ： 「細胞死研究の現在と未来」

Cell Death: What have we learned and what will we learn?

組織委員： 田中 啓二 博士 東京都臨床医学総合研究所 所長代行

西道 隆臣 博士 理化学研究所 チームリーダー

三浦 正幸 博士 東京大学 教授

講演：20名（国内9名、国外11名）

ポスター発表（公募：26件）

会期：2008年12月2日（火）～3日（水）

場所：シェラトン都ホテル東京

参加者：177名

研究奨励金の交付：国内の若手研究者支援を目的にポスター発表者の中から組織委員を選考委員として優秀研究を4件選び、1件50万円、計200万円を交付した。

(7) 特定費用準備資金の計上

研究助成事業の拡大に備えて、特定費用準備資金として11億円を計上した。

(8) 公益財団法人への移行

新公益法人制度改革関連3法が12月1日に施行された。当財団では、施行と同時に「最初の評議員の選任」方法につき主務官庁に認可申請を行い、本年2月5日に認可を得た後、2月13日に評議員選定委員会を開き最初の評議員14名を選任した。また3月12日には、理事会・評議員会を開催し、申請書類に添付する定款等の諸規程の改定につき承認を得た。公益財団法人への移行申請書は、2009年5月に内閣総理大臣宛に提出する。

以上

貸借対照表

(2009年3月31日現在)

財団法人 武田科学振興財団

(円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	399,260,607	296,950,374	102,310,233
立替金	1,493,697	493,150	1,000,547
前払費用	1,250,000	3,746,070	-2,496,070
未収入金	0	31,869	-31,869
流動資産合計	402,004,304	301,221,463	100,782,841
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	3,192,792	93,305,246	-90,112,454
投資有価証券	54,267,880,934	78,515,103,480	-24,247,222,546
基本財産合計	54,271,073,726	78,608,408,726	-24,337,335,000
(2) 特定資産			
報彰基金	0	212,467,095	-212,467,095
助成基金	13,212,444,595	17,354,960,635	-4,142,516,040
杏雨基金	231,490,058	231,490,058	0
特定費用準備資金	1,100,000,000	0	1,100,000,000
特定資産合計	14,543,934,653	17,798,917,788	-3,254,983,135
(3) その他固定資産			
什器備品	1,378,490	1,860,046	-481,556
図書資料	1,881,263,763	1,745,176,263	136,087,500
その他固定資産合計	1,882,642,253	1,747,036,309	135,605,944
固定資産合計	70,697,650,632	98,154,362,823	-27,456,712,191
資産合計	71,099,654,936	98,455,584,286	-27,355,929,350
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	5,447,534	4,544,082	903,452
預り金	3,419,337	2,250,140	1,169,197
流動負債合計	8,866,871	6,794,222	2,072,649
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	3,925,000	2,375,000	1,550,000
退職給付引当金	3,267,000	0	3,267,000
固定負債合計	7,192,000	2,375,000	4,817,000
負債合計	16,058,871	9,169,222	6,889,649
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	52,042,100,000	76,379,435,000	-24,337,335,000
指定正味財産合計	52,042,100,000	76,379,435,000	-24,337,335,000
(うち基本財産への充当額)	(52,042,100,000)	(76,379,435,000)	-24,337,335,000
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(2,228,973,726)	(2,228,973,726)	0
(うち特定資産への充当額)	(14,543,934,653)	(17,798,917,788)	-3,254,983,135
正味財産合計	71,083,596,065	98,446,415,064	-27,362,818,999
負債及び正味財産合計	71,099,654,936	98,455,584,286	-27,355,929,350

正味財産増減計算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

財団法人 武田科学振興財団

(円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,654,152,469	2,348,294,899	305,857,570
受取配当金	2,632,718,000	2,326,588,000	306,130,000
公社債受取利息	21,405,410	21,706,899	-301,489
その他受取利息	29,059	0	29,059
特定資産運用益	485,493,454	425,256,086	60,237,368
受取配当金	448,121,232	396,014,112	52,107,120
公社債受取利息	35,463,746	29,147,498	6,316,248
その他受取利息	1,908,476	94,476	1,814,000
受取寄付金	553,000	2,347,000	-1,794,000
雑収益	1,470	29,340	-27,870
経常収益計	3,140,200,393	2,775,927,325	364,273,068
(2) 経常費用			
研究助成事業費	1,561,757,695	1,241,248,346	320,509,349
武田報彰医学研究助成金	150,000,000	0	150,000,000
報彰基金研究奨励金	196,000,000	189,000,000	7,000,000
報彰基金付随費	5,310,989	4,024,000	1,286,989
生命科学研究助成金	150,000,000	70,000,000	80,000,000
一般研究奨励金	72,000,000	74,000,000	-2,000,000
医学系研究奨励金	197,000,000	138,000,000	59,000,000
薬学系研究奨励金	95,000,000	82,000,000	13,000,000
特定研究助成金	640,000,000	635,000,000	5,000,000
シンポジウム研究奨励金	2,000,000	2,000,000	0
高校理科教育振興奨励金	8,100,000	6,900,000	1,200,000
杏雨書屋研究奨励金	2,500,000	2,500,000	0
付随費	43,846,706	37,824,346	6,022,360
外国人留学生支援事業費	109,690,515	91,723,293	17,967,222
研修補助金	101,584,316	81,152,290	20,432,026
付随費	8,106,199	10,571,003	-2,464,804
武田医学賞褒賞事業費	59,988,785	58,480,265	1,508,520
褒賞金	45,000,000	45,000,000	0
付随費	14,988,785	13,480,265	1,508,520
杏雨書屋運営事業費	127,336,778	99,186,310	28,150,468
研究調査費	6,623,946	6,787,453	-163,507
運営協議会費	1,526,487	1,685,698	-159,211
展示・研究会費	4,189,419	3,614,386	575,033
出版費	31,559,100	46,302,754	-14,743,654
図書保管費	49,549,127	36,744,301	12,804,826
図書費	1,164,073	661,100	502,973

消耗什器備品費	804,783	995,085	-190,302
開館30周年費	29,421,322	0	29,421,322
付随費	2,498,521	2,395,533	102,988
シンポジウム事業費	33,290,993	33,406,273	-115,280
開催費	32,578,476	32,184,993	393,483
準備費	712,517	1,221,280	-508,763
管理費	131,103,586	124,566,846	6,536,740
役員報酬	21,868,000	22,505,000	-637,000
給料手当	44,283,779	42,167,962	2,115,817
役員退職慰労引当金繰入額	1,550,000	1,575,000	-25,000
退職給付費用	3,267,000	0	3,267,000
福利厚生費	9,311,367	8,624,543	686,824
会議費	3,370,010	5,443,818	-2,073,808
旅費交通費	1,538,309	1,279,339	258,970
通信運搬費	3,226,632	2,863,017	363,615
減価償却費	481,556	500,254	-18,698
消耗什器備品費	438,805	977,922	-539,117
広報費	4,869,360	1,418,260	3,451,100
光熱費	1,050,187	1,050,561	-374
事務所賃借料	28,123,200	28,123,200	0
事務用品費	3,626,546	4,965,416	-1,338,870
会計監査報酬	1,575,000	945,000	630,000
雑費	2,523,835	2,127,554	396,281
特定資産評価損	4,142,516,040	7,138,675,440	-2,996,159,400
経常費用計	6,165,684,392	8,787,286,773	-2,621,602,381
当期経常増減額	-3,025,483,999	-6,011,359,448	2,985,875,449
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,025,483,999	-6,011,359,448	2,985,875,449
一般正味財産期首残高	22,066,980,064	28,078,339,512	-6,011,359,448
一般正味財産期末残高	19,041,496,065	22,066,980,064	-3,025,483,999
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損	24,337,335,000	41,939,810,000	-17,602,475,000
当期指定正味財産増減額	-24,337,335,000	-41,939,810,000	17,602,475,000
指定正味財産期首残高	76,379,435,000	118,319,245,000	-41,939,810,000
指定正味財産期末残高	52,042,100,000	76,379,435,000	-24,337,335,000
III 正味財産期末残高	71,083,596,065	98,446,415,064	-27,362,818,999

キャッシュ・フロー計算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

財団法人 武田科学振興財団

(円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,654,152,469	2,345,515,462	308,637,007
配当金収入	2,632,718,000	2,326,588,000	306,130,000
公社債利息収入	21,405,410	18,927,462	2,477,948
その他利息収入	29,059	0	29,059
特定資産運用収入	485,493,454	419,023,900	66,469,554
配当金収入	448,121,232	396,014,112	52,107,120
公社債利息収入	35,463,746	22,915,312	12,548,434
その他利息収入	1,908,476	94,476	1,814,000
寄付金収入	553,000	2,347,000	-1,794,000
雑収入	1,470	29,340	-27,870
事業活動収入計	3,140,200,393	2,766,915,702	373,284,691
2. 事業活動支出			0
研究助成事業支出	1,561,757,695	1,241,248,346	320,509,349
外国人留学生支援事業支出	107,940,515	92,023,293	15,917,222
武田医学賞褒賞事業支出	59,988,785	58,480,265	1,508,520
杏雨書屋運営事業支出	126,590,708	99,444,810	27,145,898
シンポジウム事業支出	33,290,993	33,406,273	-115,280
管理費支出	124,869,709	125,454,220	-584,511
その他の事業活動支出	-168,650	-1,281,804	1,113,154
事業活動支出計	2,014,269,755	1,648,775,403	365,494,352
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,125,930,638	1,118,140,299	7,790,339
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			0
1. 投資活動収入			0
特定資産取崩収入	212,467,095	194,000,000	18,467,095
投資活動収入計	212,467,095	194,000,000	18,467,095
2. 投資活動支出			0
特定資産取得支出	1,100,000,000	1,300,976,000	-200,976,000
固定資産取得支出	136,087,500	26,250,000	109,837,500
投資活動支出計	1,236,087,500	1,327,226,000	-91,138,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,023,620,405	-1,133,226,000	109,605,595
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			0
1. 財務活動収入			0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物の増減額	102,310,233	-15,085,701	117,395,934
V 現金及び現金同等物の期首残高	266,950,374	282,036,075	-15,085,701
VI 現金及び現金同等物の期末残高	369,260,607	266,950,374	102,310,233

(注1) 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。
現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	当年度 (円)	前年度 (円)	増減 (円)
現金預金勘定	399,260,607	296,950,374	102,310,233
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-30,000,000	-30,000,000	0
現金及び現金同等物	369,260,607	266,950,374	102,310,233

(注2) 重要な非資金取引はない。

財 産 目 録

(2009年3月31日現在)

財団法人 武田科学振興財団

(円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	399,260,607		
現金手許有高	610,256		
普通預金(住友信託銀行：本店営業部)	349,158,579		
普通預金(三菱東京UFJ銀行：大阪中央支店)	6,245,690		
普通預金(三井住友銀行：十三支店)	3,246,082		
通常貯金(ゆうちょ銀行)	10,000,000		
定期預金(住友信託銀行：本店営業部)	10,000,000		
定期預金(三菱東京UFJ銀行：大阪中央支店)	10,000,000		
定期預金(三井住友銀行：十三支店)	10,000,000		
立替金(債券購入時経過利子立替)	1,493,697		
前払費用(留学生研修補助金)	1,250,000		
流動資産合計		402,004,304	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	3,192,792		
普通預金(住友信託銀行：本店営業部)(一般)	3,192,792		
投資有価証券	54,267,880,934		
株式(武田薬品工業株15,306,500株)(指定)	52,042,100,000		
公社債(国債・東京電力社債他)(一般)	2,225,780,934		
基本財産合計	54,271,073,726		
(2) 特定資産			
助成基金	13,212,444,595		
普通預金(住友信託銀行：本店営業部)	18,127,645		
株式(武田薬品工業株2,605,356株)	8,858,210,400		
公社債(国債・東京電力社債他)	4,336,106,550		
杏雨基金	231,490,058		
普通預金(住友信託銀行：本店営業部)	31,773,829		
公社債(国債・東京電力社債他)	199,716,229		
特定費用準備資金	1,100,000,000		
定期預金(住友信託銀行：本店営業部)	1,100,000,000		
特定資産合計	14,543,934,653		
(3) その他固定資産			
什器備品(移動ラック他)	1,378,490		
図書資料(本草関係書籍等)	1,881,263,763		
その他固定資産合計	1,882,642,253		
固定資産合計		70,697,650,632	
資産合計			71,099,654,936
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用(給料未払他)	5,447,534		
預り金(預り源泉所得税他)	3,419,337		
流動負債合計		8,866,871	
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	3,925,000		
退職給付引当金	3,267,000		
固定負債合計		7,192,000	
負債合計			16,058,871
正味財産			71,083,596,065

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 新会計基準の採用
2006年度(平成18年度)から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ①満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)によっている。
 - ②その他有価証券 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定)によっている。
(時価のあるもの)
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ①什器備品 定額法によっている。
 - ②図書資料 本草および医書関係書籍等の古文書であり、減価償却を行わない。
- (4) 引当金の計上基準
 - ①役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員報酬規程に基づく期末要支給額を計上している。
 - ②退職給付引当金 職員の退職金の支給に備えるため、職員給与・職員退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金	93,305,246	649,809,846	739,922,300	3,192,792
投資有価証券	78,515,103,480	739,922,300	24,987,144,846	54,267,880,934
小計	78,608,408,726	1,389,732,146	25,727,067,146	54,271,073,726
特定資産				
報助金	212,467,095	0	212,467,095	0
形成基金	17,354,960,635	1,600,397,232	5,742,913,272	13,212,444,595
杏雨基金	231,490,058	100,451,000	100,451,000	231,490,058
特定費用準備資金	0	1,100,000,000	0	1,100,000,000
小計	17,798,917,788	2,800,848,232	6,055,831,367	14,543,934,653
合計	96,407,326,514	4,190,580,378	31,782,898,513	68,815,008,379

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金	3,192,792		(3,192,792)	
投資有価証券	54,267,880,934	(52,042,100,000)	(2,225,780,934)	
小計	54,271,073,726	(52,042,100,000)	(2,228,973,726)	(0)
特定資産				
報助金	0		(0)	
形成基金	13,212,444,595		(13,212,444,595)	
杏雨基金	231,490,058		(231,490,058)	
特定費用準備資金	1,100,000,000		(1,100,000,000)	
小計	14,543,934,653		(14,543,934,653)	(0)
合計	68,815,008,379	(52,042,100,000)	(16,772,908,379)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	32,762,565	31,384,075	1,378,490
図 書 資 料	1,881,263,763	0	1,881,263,763
合 計	1,914,026,328	31,384,075	1,882,642,253

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(円)

区 分	帳簿価額	時 価	評価差益
短 期 国 債	98,835,792	99,774,600	938,808
利 付 国 債	5,872,536,586	5,937,068,100	64,531,514
東 京 電 力 社 債	391,401,793	399,040,000	7,638,207
一 般 事 業 債	299,792,306	302,600,000	2,807,694
利 付 電 信 電 話 債 券	99,037,236	101,100,000	2,062,764
合 計	6,761,603,713	6,839,582,700	77,978,987

収 支 計 算 書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

財団法人 武田科学振興財団

(円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	2,653,918,000	2,654,152,469	-234,469	
配当金収入	2,632,718,000	2,632,718,000	0	
公社債利息収入	21,200,000	21,405,410	-205,410	
その他利息収入	0	29,059	-29,059	
特定資産運用収入	482,721,232	485,493,454	-2,772,222	
配当金収入	448,121,232	448,121,232	0	
公社債利息収入	33,200,000	35,463,746	-2,263,746	予算の見積差
その他利息収入	1,400,000	1,908,476	-508,476	
寄付金収入	6,000,000	553,000	5,447,000	予算の見積差
雑収入	100,000	1,470	98,530	
事業活動収入計	3,142,739,232	3,140,200,393	2,538,839	
2. 事業活動支出				
研究助成事業費支出	1,568,810,989	1,561,757,695	7,053,294	
武田報彰医学研究助成金支出	150,000,000	150,000,000	0	
報彰基金研究奨励金支出	201,000,000	196,000,000	5,000,000	交付件数減
報彰基金付随費支出	5,310,989	5,310,989	0	
生命科学研究助成金支出	150,000,000	150,000,000	0	
一般研究奨励金支出	72,000,000	72,000,000	0	
医学系研究奨励金支出	197,000,000	197,000,000	0	
薬学系研究奨励金支出	95,000,000	95,000,000	0	
特定研究助成金支出	640,000,000	640,000,000	0	
シンポジウム研究奨励金支出	2,000,000	2,000,000	0	
高校理科教育振興奨励金支出	9,000,000	8,100,000	900,000	交付件数減
杏雨書屋研究奨励金支出	2,500,000	2,500,000	0	
付随費支出	45,000,000	43,846,706	1,153,294	
外国留学生支援事業費支出	118,000,000	109,690,515	8,309,485	
研修補助金支出	107,600,000	101,584,316	6,015,684	留学研究者減
付随費支出	10,400,000	8,106,199	2,293,801	同上
武田医学賞褒賞事業費支出	60,000,000	59,988,785	11,215	
褒賞金支出	45,000,000	45,000,000	0	
付随費支出	15,000,000	14,988,785	11,215	
杏雨書屋運営事業費支出	136,800,000	127,336,778	9,463,222	
研究調査費支出	8,000,000	6,623,946	1,376,054	
運営協議会費支出	1,800,000	1,526,487	273,513	
展示・研究会費支出	4,200,000	4,189,419	10,581	
出版費支出	35,000,000	31,559,100	3,440,900	香要抄(2)の価格減
図書保管費支出	52,800,000	49,549,127	3,250,873	修理完了のズレ
図書費支出	1,500,000	1,164,073	335,927	
消耗什器備品費支出	1,000,000	804,783	195,217	
開館30周年費支出	30,000,000	29,421,322	578,678	
付随費支出	2,500,000	2,498,521	1,479	

シンポジウム事業費支出	38,500,000	33,290,993	5,209,007	
開催費支出	36,000,000	32,578,476	3,421,524	参加者数の減
準備費支出	2,500,000	712,517	1,787,483	準備会合の減
管理費支出	134,700,000	125,805,030	8,894,970	
役員報酬支出	21,900,000	21,868,000	32,000	
給料手当支出	44,500,000	44,283,779	216,221	
福利厚生費支出	9,700,000	9,311,367	388,633	
会議費支出	6,000,000	3,370,010	2,629,990	予算の見積差
旅費交通費支出	1,300,000	1,538,309	-238,309	
通信運搬費支出	3,000,000	3,226,632	-226,632	
消耗什器備品費支出	1,000,000	438,805	561,195	
広報費支出	5,000,000	4,869,360	130,640	
光熱費支出	1,500,000	1,050,187	449,813	
事務所賃借料支出	28,200,000	28,123,200	76,800	
事務用品費支出	8,500,000	3,626,546	4,873,454	予算の見積差
会計監査報酬支出	1,600,000	1,575,000	25,000	
雑費支出	2,500,000	2,523,835	-23,835	
事業活動支出計	2,056,810,989	2,017,869,796	38,941,193	
事業活動収支差額	1,085,928,243	1,122,330,597	-36,402,354	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	212,467,095	212,467,095	0	
報彰基金取崩収入	212,467,095	212,467,095	0	
投資活動収入計	212,467,095	212,467,095	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	1,100,000,000	1,100,000,000	0	
特定費用準備資金支出	1,100,000,000	1,100,000,000	0	
固定資産取得支出	142,000,000	136,087,500	5,912,500	
図書資料取得支出	136,000,000	136,087,500	-87,500	
什器備品取得支出	6,000,000	0	6,000,000	発生なし
投資活動支出計	1,242,000,000	1,236,087,500	5,912,500	
投資活動収支差額	-1,029,532,905	-1,023,620,405	-5,912,500	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	56,395,338	98,710,192	-42,314,854	
前期繰越収支差額	294,427,241	294,427,241	0	
次期繰越収支差額	350,822,579	393,137,433	-42,314,854	

(注1)収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）の記載の3区分の様式によっている。

(注2)資金の範囲には、現金預金、立替金、前払費用、未収入金、未払費用および預り金を含んでいる。

(注3)次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	296,950,374	399,260,607
立替金	493,150	1,493,697
前払費用	3,746,070	1,250,000
未収入金	31,869	0
合 計	301,221,463	402,004,304
未払費用	4,544,082	5,447,534
預り金	2,250,140	3,419,337
合 計	6,794,222	8,866,871
次期繰越収支差額	294,427,241	393,137,433

監 査 報 告 書

2009年4月24日

財団法人 武田科学振興財団
理事長 横山 巖 殿

財団法人 武田科学振興財団

監 事 石 川 正 ⑩

監 事 中 山 俊 治 ⑩

私たちは、財団法人武田科学振興財団の2008年4月1日から
2009年3月31日までの2008年度における会計および事業の監査
を行なった結果、事業報告書、財務諸表すなわち貸借対照表、正味財産増減
計算書、キャッシュ・フロー計算書および財産目録ならびに収支計算書は、
正確かつ妥当であり、理事の業務執行は誠実に行なわれていたことを確認し
た。

以 上

独立監査人の監査報告書

平成 21 年 4 月 17 日

財団法人 武田科学振興財団

理事長 横山 巖 殿

監査法人 トーマツ

指定社員 公認会計士 吉村 祥二郎 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、財団法人武田科学振興財団の平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの 2008 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1)財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人武田科学振興財団の 2008 年度末日現在の財政状態並びに同年度の正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2)収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人武田科学振興財団の 2008 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人武田科学振興財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

特定研究助成 [I] 2008交付対象機関

研究機関	研究代表者	職 位	研 究 題 目	交付金額 (万円)
理化学研究所	石川 文彦	ユニット リーダー	免疫造血系ヒト化マウス開発成功を基盤としたヒト疾患研究への応用	5,000
癌研究会 千葉大学	今村 健志 岩間 厚志	部長 教授	先進的イメージング技術を応用したがん転移分子標的の同定 幹細胞におけるクロマチン機能の解明とその制御法の創出	5,000 5,000
順天堂大学	上野 隆	准教授	血糖調節とオートファジー タンパク分解を標的とする糖尿病予防への応用	5,000
川崎医科大学	大槻 剛巳	教授	アスベスト起因悪性中皮腫の治療および予防に向けた分子標的の探索	5,000
鳥取大学	押村 光雄	教授	ヒト型薬物代謝系を持つマウスー医薬品開発のための基礎研究ー	5,000
関西医科大学	木梨 達雄	教授	細胞接着の時空間制御による免疫システムの動態調節機構	5,000
医薬基盤研究所	野村 大成	プロジェクト リーダー	創薬研究等のためのヒト疾患自然発症マウスモデル系の確立	5,000
新潟大学	長谷川 功	教授	脳活動から文字を直接指示する言語支援システムの基盤開発	5,000
自治医科大学	間野 博行	教授	肺がん原因遺伝子EML4ーALKの臨床応用と新規がん遺伝子の探索	5,000
北海道大学	安田 和則	教授	高機能ダブルネットワークゲルがin vivoで関節軟骨の自然再生を誘導する分子機序の解明	5,000
長崎大学	吉浦 孝一郎	教授	長崎県・長崎大学の特性を生かした塩基配列評価法の新規ゲノム研究への応用	5,000

2008年度 武田報彰医学研究助成贈呈者

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目	交付金額 (万円)
荒瀬 尚	大阪大学微生物病研究所 免疫化学分野	教授	ペーパー型レセプターによる免疫制御機構の解明	3,000
岩田 想	京都大学大学院医学研究科	教授	結晶構造に基づいた膜輸送体分子輸送機構の研究	3,000
熊ノ郷 淳	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター	教授	セマフォリンシグナルによる細胞動態制御機構の解明とその可視化	3,000
水島 昇	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 細胞生理学分野	教授	オートファジーによる細胞内分解系の基礎医学的研究	3,000
渡邊 大	京都大学大学院医学研究科	教授	大脳皮質ー基底核相互の制御機構の解明	3,000

2008年度 生命科学研究助成贈呈者

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目	交付金額 (万円)
樗木 俊聡	秋田大学医学部病理病態医学 講座生体防御学分野	教授	粘膜におけるTGF-β環境構築メカニズム	1,000
片桐 秀樹	東北大学大学院医学系研究科	教授	臓器間ネットワークによる糖代謝・エネルギー代謝調節機構の解明	1,000
鳥山 一	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	教授	慢性アレルギーの分子病態の解明と責任遺伝子の特定	1,000
北村 大介	東京理科大学生命科学研究科 分子生物学部門	教授	DNaseγによる危険シグナルの形成と組織修復免疫応答の分子機構	1,000
吉川 雅英	京都大学大学院理学研究科 構造生物学NEDO特別講座	教授	微小管ーダイニン相互作用の高解像度解析	1,000
黒川 理樹	埼玉医科大学ゲノム医学研究 センター遺伝子構造機能部門	教授	非コードRNAによる遺伝子発現制御機構	1,000
鈴木 聡	九州大学生体防御医学研究所 発生工学分野	教授	PTENと結合する新規PI3キナーゼ経路抑制分子の単離とその異常による病態の解明	1,000
高柳 広	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学	教授	骨の老化機構の解明とその制御法の確立	1,000
辻本 豪三	京都大学大学院薬学研究科 ゲノム創薬科学分野	教授	新規脂脂肪酸受容体の生理、病態意義に関する研究	1,000
萩原 正敏	東京医科歯科大学 大学院疾患生命科学研究部	教授	遺伝子発現パターンの可視化によるスプライシング暗号の解明	1,000
広海 健	国立遺伝学研究所 発生遺伝研究部門	教授	軸索内パターンニングによる軸索ガイダンス:神経回路形成の新しい原理	1,000
村田 茂穂	東京大学大学院薬学系研究科 蛋白質代謝学教室	教授	プロテアソームの動作原理の解明と疾患制御への応用	1,000
山口 明人	大阪大学産業科学研究科 生体応答科学研究部門	教授	分泌輸送介在型情報伝達の解明	1,000
柚崎 通介	慶應義塾大学医学部 神経生理学	教授	成熟脳においてシナプス再構築を制御する新しい分子機構ー機能的神経再生に向けて	1,000
吉森 保	大阪大学微生物病研究所 細胞制御分野	教授	細胞内自己分解システム・オートファジーによる生体防御機構の解明	1,000

2008年度 報彰基金研究助成贈呈者

《テーマ:心臓疾患、高血圧、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病》

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目	交付金額 (万円)
荒井 秀典	京都大学大学院医学研究科	講師	炎症制御によるメタボリックシンドローム治療の新たな展開	1,000

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
児島 将康	久留米大学 分子生命科学研究所	教授	メタボリックシンドロームにおける摂食調節ペプチドの役割と治療への応用	1,000
中里 雅光	宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野	教授	新規の脳内摂食調節物質の同定と機能解析	1,000
山内 敏正	東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター 統合的分子代謝疾患科学講座	特任 准教授	アディポネクチンによる臓器間ネットワークと代謝ストレス制御メカニズム解明に基づく糖尿病・動脈硬化の新規治療法の開発	1,000
山下 俊英	大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学	教授	脳血管傷害後の神経回路を修復する治療薬の開発的研究	1,000

特定研究助成[Ⅱ]2008贈呈者

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
柿木 隆介	生理学研究所 統合生理研究系	教授	痒みと痛みの脳内認知機構の解明	300
川口 禎晴	愛知県心身障害者コロニー発達 障害研究所発生障害学部	研究員	タンパク質の可逆性アセチル化制御に関わる分子を標的としたうつ病の病態解明	100
木下 彩栄	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻	教授	In vivo modelを用いたアルツハイマー病におけるシナプス変性機構の解明	100
小山 隆太	東京大学大学院薬学系研究科	助教	側頭葉てんかんにおける異常神経回路の形成機構の解明:細胞内ミトコンドリア輸送異常の関与の検証	100
定方 哲史	理化学研究所分子神経形成 研究チーム基礎科学	特別 研究員	自閉症に関連する遺伝子の研究	150
佐藤 隆史	群馬大学生体調節研究所 生体情報部門細胞構造分野	助教	神経細胞の極性関連分子の欠損マウスを用いた小脳低形成の病態解明	500
清水 貴美子	東京大学大学院理学系研究科 生物化学	助教	時計システムがいかにして情動を制御するか	300
郷 鶴	岩手医科大学薬学部 神経科学講座	助手	アルツハイマー病モデルマウスにおけるACE作用の研究及び新規ACE阻害剤の開発	100
田中 秀和	大阪大学大学院医学系研究科	助教	神経回路網の再構築をともなう病態の解明	100
永井 義隆	大阪大学大学院医学系研究科	准教授	蛋白質のミスフォールディング・凝集を標的とした神経変性疾患共通の治療薬の開発	150
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部 解剖学教室	教授	統合失調症候補遺伝子の機能解析	150
中村 加枝	関西医科大学 生理学第二講座	教授	セロトニンとドーパミンの均衡による意欲と衝動性のコントロールのメカニズムの解明	100
鍋島 俊隆	名城大学大学院薬学研究科 薬品作用学研究室	教授	環境および遺伝要因の組み合わせによる新たな統合失調症モデル動物の作製と治療薬の開発	150
塗谷 睦生	慶應義塾大学医学部 薬理学教室	専任 講師	樹状突起の機能障害としての脳機能疾患の解析	150
平井 宏和	群馬大学大学院医学系研究科 神経生理学分野	教授	遺伝性脊髄小脳変性症の遺伝子治療法開発	400
三宅 幸子	国立精神・神経センター 神経研究所免疫研究部	室長	腸管局在性免疫制御性細胞を介した多発性硬化症の予防・治療法の開発	150
森吉 弘毅	京都大学大学院生命科学 研究科高次脳機能学分野	准教授	蛋白相互作用を対象とするシナプス病治療戦略の開発	300
柳 茂	東京薬科大学 生命科学部	教授	CRAG遺伝子による脊髄小脳変性症治療に向けた分子基盤の確立	300
山田 清文	名古屋大学医学部附属病院 薬剤部	教授	ストレスセンサーとしての脳特異的転写調節因子Npas4の動態および機能解析	100
渡瀬 啓	東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科	特任 准教授	脊髄小脳変性症におけるスプライス制御失調の病態生理学的意義とその機構の解明	300

2008年度 一般研究奨励贈呈者

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
大場 雄介	北海道大学大学院医学研究科	准教授	Ras-標的分子結合の時空間的パターンを決定する分子機構とその機能の解明	200
阿部 理一郎	北海道大学病院	講師	骨髄由来表皮細胞を用いた先天性構造タンパク欠損症の根治的治療の検討	200
星野 洋一郎	北海道大学 創成科学共同研究機構	助教	胚乳形成を制御する分子プログラムの解析と胚乳からの分化系を利用した新規植物育種法の開発	200
森口 尚	東北大学大学院医学系研究科 医化学分野	助教	大腸菌人工染色体トランスジェニックマウスを用いた転写因子GATA-1変異による白血病発症メカニズムの解明	200
福本 敏	東北大学大学院歯学研究科	教授	脱落乳歯を応用した歯の再生治療開発に関する研究	200
今居 謙	東北大学 特定領域研究推進支援センター	准教授	パーキンソン病原因遺伝子LRRK2の多面的解析	200
佐藤 守俊	東京大学 大学院総合文化研究科	准教授	疾患細胞を早期診断・早期治療する分子プローブの創製	200
伊原 さよ子	東京大学 大学院農学生命科学研究科	助教	細胞癌化に関わるアクチン結合タンパク質の新機能の解明	200
喜多村 和郎	東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻生理学講座神経生理学	助教	個体脳単一ニューロンにおけるシナプス統合とその生理的意義	200
小山 時隆	名古屋大学 大学院理学研究科	助教	概日振動システムにみられるロバストネスの実験的検証とその進化における意義の探究	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
佐藤 豊	名古屋大学 大学院生命農学研究科	准教授	イネの胚形成過程における器官形成機構の解析	200
大河内 美奈	名古屋大学 大学院工学研究科	講師	磁力を利用した液滴ハンドリングによる一細胞遺伝子解析システムの開発	200
土居 雅夫	京都大学大学院薬学研究科 医薬創成情報科学専攻 システムバイオロジー分野	講師	転写振動の動態管理を担う新エピジェネティック法則の同定と生体リズム調整剤の開発	200
今西 未来	京都大学化学研究所	助教	概日リズム同調メカニズムの解明に向けた人工転写因子の創製	200
寶関 淳	京都大学再生医学研究所 細胞機能調節学分野	産学官 連携	ジスルフィド還元酵素ERdj5の還元経路解析	200
竹ヶ原 宣子	大阪大学 微生物病研究所	助教	セマフォリンシグナル多様性獲得の分子メカニズムの解明	200
岡田 欣晃	大阪大学大学院薬学研究科 蛋白質情報解析学分野	助教	血小板分化を制御する転写因子群の同定とin vitro高収率血小板調製システムの開発	200
櫛引 俊宏	大阪大学大学院工学研究科 附属フロンティア研究センター	特任 講師	医工連携技術を用いた細胞機能制御に関する研究 ー光量子技術の医学・生物学応用にむけてー	200
戸叶 基樹	九州大学大学院工学研究院 応用化学部門(機能)	助教	骨格融合法による近赤外発光アニオン認識プローブの開発	200
松下 智直	九州大学高等研究機構	特任 准教授	植物の主要な光情報受容体フィトクロムBの細胞内シグナル伝達機構の解析	200
前仲 勝実	九州大学 生体防御医学研究所	准教授	犬ジステンパーウイルスワクチンの有効性に関する構造基盤	200
梅村 正幸	琉球大学 遺伝子実験センター	助教	肺結核感染症におけるInterleukin(IL)-17依存性免疫応答の制御と防御メカニズムの解明	200
渡部 久実	琉球大学遺伝子実験センター	助教	マラリア原虫感染により誘導される自己抗体の感染防御機能の解析	200
平良 東紀	琉球大学農学部	准教授	亜熱帯植物遺伝子の多様性を利用した植物キチナーゼの構造と抗真菌活性との相関解明	200
横尾 隆	東京慈恵会医科大学DNA医学研究所 プロジェクト研究部腎臓再生研究室	室長	維持透析を代替する次世代腎臓再生法の開発	200
伊達 太郎	東京慈恵会医科大学 循環器内科	助教	アンジオテンシンIIにより惹起される不整脈源性心房内炎症とその分子生物学的機序の解明	200
猿田 雅之	東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科	助教	炎症性腸疾患におけるストレス関連ペプチドCRFおよびUrocortin Familyの発現とその作用	200
舟橋 啓	慶應義塾大学理工学部	専任 講師	インシュリンシグナル伝達ネットワークの網羅的解析法の開発	200
堀田 耕司	慶應義塾大学理工学部 生命情報学科	助教	脊索動物個体全体を用いた神経細胞ネットワークの網羅的解明	200
堀澤 健一	慶應義塾大学理工学部	特別研究 助教	アルギニンメチル化酵素群における標的タンパク質の網羅的探索技術の開発	200
越野 一朗	東京女子医科大学医学部 生化学教室	助教	マラリア感染防御のための赤血球側からのアプローチ	200
中谷 幸太郎	東京女子医科大学 脳神経外科	助教	細胞保護物質投与による放射線誘導アポトーシス抑制効果の研究	200
栗本 真紀子	東京女子医科大学 第二内科	助教	成人における成長ホルモン分泌異常に関する研究	200
片山 由紀	順天堂大学医学部 細菌学	助教	黄色ブドウ球菌の新規免疫攪乱遺伝子によるアトピー性皮膚炎の増悪および宿主感染免疫機構の解明	200
石島 旨章	順天堂大学医学部 整形外科	助教	変形性膝関節症における滑膜に発現するパールカンの機能解析	200
中野 信浩	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター	助教	マスト細胞の未知機能の探索とその制御	200

2008年度 医学系研究奨励贈呈者

《基礎系研究》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
赤澤 宏	千葉大学大学院医学研究院 心血管病態解析学寄附講座	寄附講座 教員	アンジオテンシンII受容体を介するメカノセンシング機構の解明	200
縣 保年	京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学分野	助教	エピジェネティクスと染色体ダイナミクスによる対立遺伝子排除の制御機構	200
吾郷 日出夫	理化学研究所 宮野構造生物物理研究室	専任 研究員	ヒト由来膜蛋白質の構造生物学的解析による生理活性脂質代謝機構解明	200
井倉 毅	東北大学大学院医学系研究科 細胞生物学講座生物化学分野	講師	ユビキチン化によって制御される新たなDNA損傷応答機構と癌抑制シグナルのクロストーク	200
池添 隆之	高知大学医学部 血液・呼吸器内科	助教	分裂期キナーゼを標的とした新規がん治療法の開発	200
石丸 直澄	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部	准教授	T細胞のシグナル伝達異常に基づいた自己免疫疾患発症機序の解明	200
今井 暁子	癌研究会癌研究所 がん生物部	研究員	細胞老化維持機構の破綻とその発癌への関与	200
今井 陽一	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	講師	リアルタイム生体イメージングに基づく骨髄微小環境における造血幹細胞・白血病幹細胞の動態の解析	200
入江 潤一郎	慶應義塾大学医学部 内科腎臓内分泌代謝科	特別研究 助教	免疫応答としての肝脂肪蓄積と代謝異常の解析	200
岩脇 隆夫	理化学研究所 岩脇独立主幹研究ユニット	ユニット リーダー	血管新生を制御するストレス応答分子の機能解析	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額 (万円)
上原 孝	北海道大学大学院薬学研究院	准教授	酸化蛋白質特異的認識抗体の孤発性神経変性疾患診断への応用	200
内村 健治	国立長寿医療センター研究所 アルツハイマー病研究部 発症機序解析研究室	室長	アルツハイマー病モデルマウスを用いた脳血管外細胞遊走分子メカニズムの解析	200
大森 義裕	大阪バイオサイエンス研究所 発生生物学部門	研究員	織毛関連疾患(網膜色素変性症、肥満、多発性嚢胞腎、多指症など)の発症メカニズムの解析	200
荻 朋男	長崎大学大学院医歯薬学総合 研究科原爆後障害医療研究施設分子医療 部門分子診断分野	テニョア トラック 助教	放射線損傷DNA修復過程における複製忠実度の低いDNAポリメラーゼによる突然変異誘発機構の解析	200
親泊 政一	徳島大学疾患ゲノム研究 センター生体機能分野	教授	小胞体ストレス応答のシグナルによる生体機能制御	200
片岡 浩介	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	准教授	膵島β細胞のグルコース感知システムの分子実体の解明とその破綻のメカニズム	200
川内 健史	慶應義塾大学医学部 解剖学教室	講師	発生期大脳皮質における神経細胞の成熟過程を制御する分子機構のin vivo解析	200
川口 寧	東京大学医学研究所感染症 国際研究センター感染制御部門	准教授	リアルタイムイメージングを用いたウイルス粒子成熟過程の時空間的解析	200
北村 浩	理化学研究所免疫・アレルギー 科学総合研究センター 免疫ゲノクス研究グループ	上級 研究員	急性骨髄性白血病幹細胞特異的なスプライシングバリエーションの同定と機能解析	200
小泉 修一	山梨大学大学院医学工学総合 研究部薬理学講座	教授	脳虚血耐性現象におけるミクログリアの役割に関する研究	200
佐藤 健	群馬大学生体調節研究所	准教授	細胞内へのコレステロール取り込みにはたらく分子メカニズムの解析	200
篠原 正浩	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究 科分子情報伝達学	助教	破骨細胞分化におけるインシトルリン脂質を介したシグナル伝達経路の解明	200
神野 尚三	九州大学大学院医学研究院 神経形態学分野	講師	うつ病治療基盤としての海馬の構造的可塑性の解明	200
末次 志郎	東京大学 分子細胞生物学研究所	講師	シグナル伝達の膜形態依存的時空間制御機構の解明	200
杉森 道也	富山大学大学院医学薬学 研究部統合神経科学	助教	深部脳刺激による神経前駆細胞の分化制御と神経再生誘導療法の開発	200
曾根 正勝	京都大学大学院医学研究科	助教	hiPESとESを用いた血管再生・老化機構の解明と再生治療への応用	200
高江洲 義一	九州大学生体防御医学研究所 免疫制御学分野	助教	細胞周期依存的なオートファジー制御機構の解明	200
武田 壮一	国立循環器病センター研究所 心臓生理学	室長	蛇毒高分子量メタロプロテアーゼによる標的タンパク質認識機構の研究	200
田中 耕三	東北大学加齢医学研究所 特定領域研究推進支援センター	准教授	発がん機構との関連におけるゲノム安定性維持機構の解析	200
田村 功一	横浜市立大学大学院医学 研究科病態制御内科学	准教授	心血管病増悪因子受容体の新規特異的機能調節因子を標的とした発生工学的手法の応用による生体での機能制御の試み	200
田村 智彦	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	准教授	転写因子IRF5による腫瘍抑制の分子機構に関する研究	200
寅嶋 崇	群馬大学大学院医学系研究科 教育研究センター(神経生理)	助教	臨床に使用できる安全なレンチウイルスベクターの作製とその遺伝子発現に関する研究	200
西田 満	神戸大学大学院医学系研究科 細胞生理学分野	准教授	Rif低分子量G蛋白質のWnt5a-Ror2シグナル伝達系における役割	200
野田 岳志	東京大学医学研究所	特任 助教	In situ hybridization法を用いたインフルエンザウイルス・ゲノム集合機構の解析	200
原田 高幸	東京都神経科学総合研究所 運動・感覚システム研究分野	副参事 研究員	正常眼圧緑内障に対する新規治療法の開発	200
平島 正則	神戸大学大学院医学系研究科 血管生物学分野	特命 准教授	リンパ管形成において内皮細胞の制御と形態形成に関与する分子基盤の解明	200
平山 順	東京医科歯科大学難治疾患 研究所MTTプログラム	特任 講師	概日リズムによる基本生理機能の制御機構	200
廣野 守俊	理化学研究所脳科学総合研究センター神経 回路メカニズム研究グループ小幡研究ユニッ	基礎科学 特別研究	小脳グロブユラー細胞の局所回路形成への寄与	200
福原 茂朋	国立循環器病センター研究所 循環器形態部	室長	アンジオポエチン-1受容体Tie2の空間的・機能的制御とその生理的意義の解明	200
古田 貴寛	京都大学大学院医学研究科 高次脳形態学教室	助教	ヒゲ感覚システムにおいて視床から大脳皮質への入力が形成する回路の構造と機能	200
堀 昌平	理化学研究所免疫・アレルギー 科学総合研究センター 免疫恒常性研究ユニット	ユニット リーダー	制御性T細胞分化と機能の分子機構の解明	200
前田 慎	朝日生命成人病研究所 消化器科	部長	大腸癌における恒常的NF-κB活性化の意義と治療への応用	200
松永 英治	理化学研究所脳科学総合研究センター知的 脳機能研究グループ生物言語研究チーム	基礎科学 特別研究 員	歌鳥をモデルとした発声学習の分子基盤を探る研究	200
三木 隆司	千葉大学大学院医学研究院 自律機能生理学	教授	視床下部K _{ATP} チャネルによる代謝制御の分子メカニズム	200
南本 敬史	放射線医学総合研究所分子 イメージング研究センター 分子神経イメージンググループ	主任 研究員	動機付け制御機能におけるサル前頭前野ドーパミンD1およびD2受容体の役割	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
牟田 達史	東北大学大学院 生命科学研究所	教授	転写後制御を介した炎症応答における選択的遺伝子発現機構とその生理的意義	200
村田 喜理	東北大学大学院医学系研究科 細胞生理学分野	助教	血中酸素分圧変化に伴う血管平滑筋収縮における、電依存性Ca ²⁺ チャネルの役割:電位依存性Ca ²⁺ チャネルの酸素感受性の解析	200
リチャード ウォング	金沢大学 フロンティアサイエンス機構	特任 准教授	Nup88の機能と細胞内動態とがんの発症メカニズムの解析	200
和田 はるか	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 生体機能制御研究部門	助教	神経軸索変性症の発症機構解明と治療法に関する研究 ー神経・造血・骨異常から探る	200
《臨床系研究》				
池嶋 健一	順天堂大学医学部 消化器内科	准教授	脂肪性肝炎の発症・進展における肝内免疫機構の関与	200
石井 優	大阪南医療センター 臨床研究部リウマチ科	主任 研究員	破骨細胞の遊走・位置の制御に注目した新規の骨吸収性疾患治療薬の開発	200
石黒 和博	名古屋大学医学部 消化器疾患病態論寄附講座	准教授	抗原-抗原提示細胞-炎症の関連を評価できる新しい腸炎モデルの開発とその応用	200
伊藤 量基	関西医科大学 内科学第一講座	講師	Imidazoquinolineを用いたアレルギー性疾患治療法の開発	200
今村 裕	慶應義塾大学医学部 稲井田記念抗加齢眼科学講座	講師	加齢黄斑変性のバイオマーカーの検出と眼底自発蛍光を用いた病変の定量化	200
上野 富雄	山口大学医学部附属病院	助教	小腸移植を代用する消化管再生治療法の研究開発	200
太田 英伸	東北大学病院 周産母子センター	助教	光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する人工保育器の開発	200
鏡 雅代	国立成育医療センター研究所 小児思春期発育研究部	研究員	ヒト14番染色体インプリンティング異常症発症機序の解明	200
北村 明子	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部	助教	家族性自己免疫疾患のゲノムワイド連鎖解析と疾患遺伝子同定	200
工藤 保誠	広島大学大学院医歯薬学総合 研究科口腔顎顔面病理病態学	助教	APC/Cユビキチンリガーゼ複合体の活性を抑制するEmi1の異常と癌化との関連	200
小山 信之	埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科	講師	肺癌におけるEZH2発現解析とEZH2関連因子探索へのゲノムワイドなアプローチ	200
雑賀 司珠也	和歌山県立医科大学医学部 眼科学講座	教授	脈絡膜悪性黒色腫の浸潤、遠隔転移でのTGFβ / Smadシグナル、特にSmadリンカー領域リン酸化の役割の研究	200
佐藤 勝重	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究 科細胞生理学分野	講師	神経活動の術中光学イメージングと切除脳標本の生理学的解析を組み合わせたヒト脳てんかん波伝播パターンの多角的研究	200
高井 大哉	東京大学医学部附属病院 検査部	講師	Micro RNAの発現異常とエピジェネティクス異常のクロストークの解明並びに肺がん化学療法最適化	200
高橋 裕	神戸大学大学院医学系研究科 内科学講座糖尿病・代謝・ 内分泌内科学分野	講師	成人GH分泌不全症をモデルとした非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明と治療応用	200
高持 一矢	順天堂大学 呼吸器外科	助教	ヒト上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異を有する局所進行非小細胞肺癌に対する術前ゲフィチニブ治療後外科切除の認容性試験	200
永石 宇司	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 消化管先端治療学	助教	炎症性腸疾患における腸管粘膜免疫調節機構破綻に対する新規治療法の開発	200
中岡 良和	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学	特任 助教	虚血性心疾患における内皮細胞を介したサイトカインネットワークの機能解明	200
中島 清一	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学	助教	体表無切開内視鏡手術(Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery: NOTES)における安全・確実な経胃壁ルートの作成・閉鎖法に関する研究	200
中村 隆宏	同志社大学 再生医療研究センター	講師	再生医療の実現へ向けてのEGFRシグナルによる角膜上皮幹細胞の恒常性維持機構の解明	200
仁井見 英樹	富山大学附属病院 検査部遺伝子検査室	助教 検査部 副部長	迅速・簡便・安価な敗血症起因菌同定ITシステムの構築	200
橋本 貢士	群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学	助教	新規摂食抑制ホルモンNesfatin-1のシグナル伝達経路の解明	200
藤井 眞一郎	理化学研究所免疫・アレルギー 科学総合研究センター免疫細胞 移植戦略研究ユニット	ユニット リーダー	免疫学的特性を考慮した化学療法と癌免疫療法併用の検討	200
前嶋 明人	群馬大学 生体統御内科学	助教	アクチビンを標的分子とした腎不全治療の確立	200
宮本 昌一	田附興風会医学研究所北野 病院心臓センター循環器内科	副部長	血管内ざり応力を介した加速ベッドによる狭心症治療法の開発	200
宮本 敏伸	旭川医科大学医学部 産婦人科学講座	助教	ヒト無精子症原因遺伝子群の同定および新たな無精子症原因遺伝子診断法の開発	200
森田 啓行	東京大学大学院医学系研究科 22世紀医療センター 健康医科学創造講座	特任 准教授	重症拡張型心筋症の原因遺伝子変異同定と機序解明	200
柳 重久	宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野	助教	肺上皮特異的Pten欠損マウスを用いた肺線維症発症機序の解明と新規治療法の構築	200
山蔭 道明	札幌医科大学医学部 麻酔学講座	講師	気道過敏性先進モデルを用いた麻酔薬の影響と機序の解明	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
山野 嘉久	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター ゲノム医科学研究室	講師	HTLV-I 関連脊髄症(HAM)の原因細胞同定に基づく新規抗体療法標的分子の解明に関する研究	200
山本 幸也	藤田保健衛生大学医学部 血液内科	講師	受容体型チロシンキナーゼFLT3中和抗体作製と抗腫瘍活性の検討	200
湯浅 慎介	慶應義塾大学医学部 循環器内科	助教	ES細胞およびiPS細胞を用いた心筋再生医療の確立	200
渡邊 智裕	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学	助教	自然免疫システムの活性化によるクローン病の新規治療法の開発	200

2008年度 医学系研究奨励継続助成贈呈者

《基礎系研究》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
新井 文用	慶應義塾大学医学部 発生・分化生物学	講師	幹細胞ニッチ制御の成立・維持の分子機構	300
高橋 智聡	京都大学大学院医学研究科 21世紀COEプログラム	准教授	複合遺伝子変異マウスを用いた発がん・転移メカニズムの解析からヒト癌の理解と克服へ	300
田中 元雅	理化学研究所脳科学総合研究センター田中 研究ユニット	ユニット リーダー	ポリグルタミン病発症分子機構の解明	300
尾藤 晴彦	東京大学大学院医学系研究科	准教授	単一シナプス内蛋白相互作用の解析と定量	300
古川 貴久	大阪バイオサイエンス研究所 発生生物学部門	研究 部長	網膜視細胞の発生機構の解析と遺伝子網膜疾患の原因遺伝子の同定	300

《臨床系研究》

新井 郷子	東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 分子病態医学部門	講師	新しいポリコムグループ分子MBT-1による急性白血球治療の開発	300
井上 治久	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座臨床神経学	助教	孤発性筋萎縮性側索硬化症患者神経幹細胞を用いた新規治療法の開発	300
梶島 健治	産業医科大学 皮膚科	准教授	形質細胞の制御による自己免疫疾患克服の試み	300
中島 利博	聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター ゲノム医科学研究部門	副センター 長・ 教授	小胞体“蛋白分解亢進症”という関節リウマチの新しい疾患概念の提唱	300
彦惣 俊吾	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学	特任 研究員	心筋におけるTNF- α 産生抑制機構の解明と心不全治療への応用	300
丸山 啓介	東京大学大学院医学系研究科 脳神経外科	助教	頭部定位放射線治療計画ソフトウェアへの拡散テンソルトラクトグラフィーの統合システムの開発	300

2008年度 報彰基金研究奨励継続助成贈呈者

《テーマ:心臓疾患、高血圧、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
足立 健	慶應義塾大学医学部 医化学	准教授	メタボリックシンドロームにおける蛋白質チオール修飾の役割	300
石川 義弘	横浜市立大学 大学院医学研究科	教授	心不全治療戦略における分子医学と創薬の融合	300
海老原 健	京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科	特任 講師	レプチンを用いた新しい糖尿病治療法の開発	300
尾池 雄一	熊本大学大学院医学薬学 研究部成育再建・移植医学 講座分子遺伝学	教授	メタボリックシンドロームの治療標的としてのアンジオポエチン様因子ファミリー分子の機能解析	300
奥村 敏	横浜市立大学大学院医学 研究科循環制御医学	准教授	心不全発症における5型アデニル酸シクラーゼの役割と新しい心不全治療薬の開発	300
尾野 亘	京都大学大学院医学研究科 循環器内科	助教	レトロウイルス遺伝子破壊法による脂肪細胞分化に必須な新規蛋白の同定-メタボリックシンドロームにおける心血管疾患克服を目指して-	300
亀井 康富	東京医科歯科大学難病疾患 研究所分子代謝医学分野	准教授	脂肪細胞とマクロファージの相互作用における核内受容体の抗炎症作用の分子機構の解明と医学応用	300
澤本 和延	名古屋市立大学 大学院医学研究科	教授	マウス脳梗塞モデルを用いた薬剤投与によるニューロン再生促進効果の検討	300
鈴間 潔	静岡県立総合病院 眼科	総括 医長	細胞内シグナル制御による糖尿病網膜症の治療法開発	300
高橋 英夫	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科薬理学	准教授	病巣指向性の単クローン抗体による脳梗塞、心筋梗塞およびクモ膜下出血後脳血管攣縮の治療法開発	300
竹石 恭知	福島県立医科大学医学部 内科学第一講座	教授	細胞内脂質代謝と心臓リモデリング:ジアシルグリセロールキナーゼによるGp蛋白共役型受容体シグナルの制御	300
東口 治弘	千葉大学大学院医学研究院 糖尿病態医学	産学官連 携 研究員	心不全発症、進展に関与する遺伝子の検討 12-lipoxygenaseの心臓における役割について	300
永井 敏雄	千葉大学大学院医学研究院 循環病態医学	講師	成体心筋幹細胞株の確立と心筋細胞への分化機序および誘導因子の解明	300
中神 啓徳	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子治療学	助教	新規血管新生遺伝子の画期的スクリーニング法の開発およびその臨床応用	300
西 英一郎	京都大学大学院医学研究科 内科学講座循環器内科学	産学官連 携 准教授	膜結合型増殖因子のシェディングの調節メカニズムの解明と心血管疾患治療への応用	300

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
範江林	山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学講座	教授	動脈硬化の発生及び進展におけるC反応性蛋白の役割ー遺伝子改変ウサギモデルを用いた研究	300
前島 洋平	岡山大学医学部歯学部附属病院腎臓・糖尿病・内分泌内科	講師	血管新生抑制因子による糖尿病性腎症治療効果及び作用機序の検討	300
益崎 裕章	京都大学大学院医学研究科内分泌代謝内科	助教	糖尿病、動脈硬化の基盤病態としてのメタボリックシンドロームに対する新規の診断法、治療法の開発研究	300
松村 剛	熊本大学医学部附属病院代謝・内分泌内科	医員	スタチンによる新規動脈硬化抑制機序の解明ーマクロファージPPAR γ 活性誘導効果の意義	300
南 敬	東京大学先端科学技術研究センターシステム生物医学	特任准教授	血管内皮細胞のトランスクリプトーム解析及びNF- κ T/DSCR-1 feedback systemの解明に基づく抗血管疾患(動脈硬化)治療への応用	300
森本 達也	京都医療センター展開医療研究部	主任研究員	ES細胞を用いた心筋細胞分化における心筋特異的GATA4コンプレックスの精製	300
和田 隆志	金沢大学大学院医学系研究科血液情報統御学	教授	糖尿病性臓器合併症の進展にはたす骨髄由来間葉系細胞の意義	300

2008年度 報彰基金研究奨励贈呈者

《テーマ:心臓疾患、高血圧、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
浅野 知一郎	広島大学大学院医歯薬学総合研究科探索医学講座医化学教室	教授	Prolyl isomerase (Pin1)の代謝調節における役割とインスリン抵抗性への関与	200
石上 友章	横浜市立大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学	准教授	心腎ナトリウムチャンネルに共通する抑制因子Nedd4Lの分子病態に着目した、心血管病の成因の解明	200
井上 啓	金沢大学フロンティアサイエンス機構	特任准教授	新規肝糖脂質代謝制御メカニズムの解明	500
岩永 善高	近畿大学医学部循環器内科	講師	慢性心不全と慢性腎臓病、新規共通分子メカニズムの解明	200
上野 修市	自治医科大学内科学講座循環器内科部門	病院助教	マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い新たな心筋細胞への分化誘導法の開発	200
大澤 春彦	愛媛大学大学院医学系研究科分子遺伝制御内科学	准教授	サイトカイン関連遺伝子のプロモーターSNPを標的とする2型糖尿病感受性遺伝子の体系的同定	200
太田 嗣人	金沢大学フロンティアサイエンス機構	特任助教	肝栄養代謝における小胞体ストレス応答の分子機構解明	200
甲斐 久史	久留米大学医学部内科心臓・血管内科	准教授	可溶性インターフェロ γ 受容体を用いた次世代コーティングステントの開発ー完全生体吸収型コーティングステントへの応用ー	200
北村 ゆかり	群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野	COE研究員	膵 β 細胞における糖、脂肪毒性発症メカニズムの解明ー転写因子FoxO1の関わりを中心にー	200
小島 淳	熊本大学大学院医学薬学研究部生体機能病態学講座循環器病態学	助教	冠動脈内超音波(IVUS)Virtual Histologyを用いた各種病態における冠動脈疾患患者の冠動脈プラークの質的性状の評価および治療や大規模臨床研究への臨床応用に関する検討	200
後藤 知己	熊本大学大学院医学薬学研究部分子遺伝学分野	講師	小胞体ストレス経路の動脈硬化病態への関与	200
小林 茂樹	山口大学医学部附属病院	助教	細胞内カルシウム放出制御による新しい心不全・不整脈治療法の開発	200
阪上 浩	近畿大学医学部薬理学教室	講師	糖尿病発症における新規アディポサイトカインMFG-E8の病態生理学的意義の解明	200
坂根 郁夫	札幌医科大学医学部生化学第二講座	准教授	ジアシルグリセロールキナーゼ δ によるインスリン抵抗性・2型糖尿病増悪化制御の分子機構	200
下畑 享良	新潟大学脳研究所神経内科	准教授	脳梗塞に対する新規標的分子としてのprogranulinの検討	200
白鳥 行大	東京理科大学生命科学研究所分子生物学研究部門	助教	I型糖尿病疾患感受性遺伝子KIAA0350のリガンド探索	200
菅波 孝祥	東京医科歯科大学難治疾患研究所分子代謝医学分野	助教	新規炎症抑制性転写因子ATF3のメタボリックシンドロームにおける病態生理的意義の解明	200
関谷 元博	東京大学医学部附属病院糖尿病代謝内科	医員	マクロファージにおける中性コレステロールエステラーゼの解析を介した動脈硬化メカニズムの解明および治療法への発展	200
千本松 孝明	埼玉医科大学薬理学	准教授	レニンアンジオテンシンシステム(RAS)を形成する膜一回貫通型蛋白群の機能解析	200
高木 正稔	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学	助教	糖代謝および脂肪細胞分化過程におけるATMの役割に関する研究	200
竹内 純	東京工業大学グローバルエッジ研究院	特任助教	染色体再構成因子群による心臓分化誘導メカニズムの研究	500
竹森 洋	医薬基盤研究所基盤的研究部	プロジェクトリーダー	肥満後の摂食調節機構に関する研究	200
武谷 立	九州大学生体防御医学研究所	助教	心筋における筋原繊維形成のためのアクチン重合機構の解明	200
中川 修	奈良県立医科大学先端医学研究機構	教授	転写調節因子複合体の循環器疾患の成因における意義	500
中山 晋介	名古屋大学大学院医学系研究科	准教授	糖尿病性消化管運動障害とカハール間質細胞ネットワーク機能	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
平野 勝也	九州大学大学院医学研究院 分子細胞情報学分野	准教授	くも膜下出血後脳血管攣縮の分子機構解明と新たな予防・治療法の開発	200
平橋 淳一	東京大学医学部附属病院 腎臓内分泌内科	助教	自己免疫性血管炎および腎炎の新しい治療法の開発	200
堀内 久徳	京都大学大学院医学研究科 循環器内科	講師	活性化血小板における濃染顆粒放出制御メカニズムの解明	500
松岡 孝昭	大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学講座	特任助教	2型糖尿病における膵β細胞機能障害の解析	200
松本 道宏	神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝・内分泌内科	医学研究員	肥満・インスリン抵抗性の惹起・進展における脂肪組織インスリン作用過剰の役割の解明	500
マツラナ アンドレス ダニエル	東京工業大学 グローバルエッジ研究院	特任助教	Enigma Homolog splice variants either promoting or antagonizing the development of cardiac diseases	200
安田 修	大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学	助教	心血管疾患発症における新規アポトーシス誘導因子 Apopの役割の解明	200

2008年度 薬学系研究奨励贈呈者
《薬学》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
青山 浩	大阪大学大学院薬学研究科	准教授	マウス由来GDEファミリーの機能構造解析	200
大脇 敏之	東京理科大学薬学部 生命創薬科学科	助教	フィブロネクチン由来反接着性ペプチドFNIII14と抗癌剤を併用した造血管悪性腫瘍の根絶治療法の確立	200
奥野 恭史	京都大学大学院薬学研究科 統合薬学フロンティア教育 センター統合薬学教育開発分野	准教授	ケミカルゲノミクスに基づく超多次元構造活性相関解析法の開発	200
奥平 桂一郎	国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部	研究員	HDL上昇薬開発を目的とした新しいABCA1発現制御メカニズムの研究	200
尾崎 恵一	長崎大学大学院医歯薬学総合 研究科生命薬科学	准教授	ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤による制がん作用発現の分子機構解明とそのがん治療への応用	200
長田 茂宏	名古屋市立大学大学院薬学 研究科分子生物薬学分野	准教授	生体防御および細胞がん化におけるMYSTアセチル化酵素ファミリーの役割の解明	200
紙谷 浩之	北海道大学大学院薬学研究院	准教授	活性酸素により生ずるヌクレオチド損傷体の複製・転写への影響の解明	200
岸本 泰司	徳島文理大学香川薬学部	助教	記憶障害改善を志向した内在性カンナビノイド受容体シグナリングの機能解明	200
木下 恵美子	広島大学 大学院医歯薬学総合研究科	助教	ハイスループットなキナーゼプロファイリングのための高精度蛍光センサーの開発	200
久保田 隆廣	千葉科学大学薬学部	准教授	Cytochrome P450 2D6 (CYP2D6), P450 3A4/5 (CYP3A4/5) および Sulfotransferase 1A1 (SULT1A1) 遺伝子多型解析に基づく抗がん剤 tamoxifen の適正使用	200
栗生 俊彦	徳島文理大学香川薬学部	助教	分子動態イメージング法を用いた抑制性シナプス制御機構の解明と創薬への応用	200
後藤 貴章	東北大学大学院薬学研究科	助教	創薬研究への応用を目的とした代謝活性化リスク評価系の開発	200
櫻井 宏明	富山大学 和漢医薬学総合研究所	准教授	リンパ球発がんにおけるTAK1シグナルの果たす役割	200
重永 章	徳島大学大学院ヘルス バイオサイエンス研究部薬学系	助教	シャトルペプチドを基盤とした疾患関連タンパク質核外排出システムの開発	200
嶋澤 雅光	岐阜薬科大学 生体機能分子学講座	准教授	緑内障による網膜神経節細胞死における小胞体ストレス機構の解明	200
新藤 充	九州大学 先端物質化学研究所	准教授	アポトーシスの制御を指向した膜タンパク質多点認識型リン脂質コンジュゲートの開発	200
須原 義智	神戸薬科大学 衛生化学研究室	講師	脳神経変性疾患治療薬を目指したリード化合物の創製	200
高原 章	東邦大学 薬学部	准教授	肺静脈起源による心房細動の発生メカニズム解明と新規心房細動治療薬への応用	200
恒枝 宏史	富山大学大学院医学薬学 研究部病態制御薬理学	准教授	全身性メタボリック調節における視床下部オレキシン神経系の役割の解明	200
寺田 智祐	京都大学医学部附属病院 薬剤部	副薬剤部長	肝疾患時におけるヒト肝薬物トランスポーター発現変動機構の解明と薬物治療への応用	200
中川 秀彦	名古屋市立大学 大学院薬学研究科	准教授	多光子吸収過程で作動する新規な光制御型一酸化窒素ドナーの開発	200
中島 美紀	金沢大学薬学部	准教授	乳癌の治療・予防を目指したビタミンD3不活性化酵素 CYP24のmicroRNAによる発現制御の研究	200
張 功幸	名古屋市立大学 大学院薬学研究科	助教	トリメチルシリルジアゾメタンを用いた非天然型アミノ酸の合成	200
東 伸昭	東京大学大学院薬学系研究科	准教授	ヘパリン低分子化を介したマスト細胞の機能調節	200
藤森 功	大阪薬科大学薬学部	講師	間葉系幹細胞から骨芽・脂肪細胞への分化における脂質メダエーターの機能解明	200
眞鍋 敬	理化学研究所 眞鍋独立主幹研究ユニット	独立主幹研究員	新規オリゴアレーン型触媒を用いる位置選択的炭素-炭素結合形成反応の開発	200
萬谷 博	東京都老人総合研究所	研究員	神経-筋疾患の薬物治療への応用を目指した蛋白質O-マンノシル化機構の解析	200
溝口 広一	東北薬科大学薬学部	准教授	多発性硬化症疼痛のメカニズムの解明ならびにその特効薬の開発	200

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
三宅 歩	京都大学大学院薬学研究科 生命薬科学専攻遺伝子薬学 分野	講師	GABA及びドパミン作動性ニューロンの発生機構におけるFGFの役割の解明と神経変性疾患治療への応用	200
山本 幸男	東京医科歯科大学難治疾患 研究所MTTプログラム	特任 講師	核内受容体ER α とCARの活性化バランスによる肝脂質代謝 制御の分子機構	200

《 生 薬 学 》

伊東 秀之	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科	准教授	海馬神経細胞突起伸張活性物質をプローブとした認知症予防 に寄与する天然薬物の探索研究	200
宇都 拓洋	長崎国際大学薬学部	助手	ジンセノシド特異的抗体を用いた薬用人参の作用分子メカニ ズム解明	200
大槻 崇	千葉大学大学院薬学研究科 活性構造化学研究室	助教	腫瘍選択的なアポトーシスを増強する天然医薬シーズの探索と その作用機序の解析	200
掛谷 秀昭	京都大学大学院薬学研究科	教授	有用微生物代謝産物の生合成に関するケミカルバイオロジー 研究	200
谷口 抄子	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科薬学系	助教	植物におけるタンニンの分布と構成成分の構造の違いを考慮 した定量的評価	200
津田 正史	高知大学 海洋コア総合研究センター	教授	海産渦鞭毛藻由来の抗腫瘍性物質の探索と開発	200
寺坂 和祥	名古屋市立大学大学院 薬学研究科生薬学分野	助教	薬用植物ゲノムを利用した二次代謝糖転移酵素遺伝子のク ローニングと機能解析	200
西田 浩志	新潟薬科大学 応用生命科学部	助教	シナンドリリンBによるDNA損傷チェックポイント阻害を介したガ ン治療増感作用に関する研究	200
松浪 勝義	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科	講師	マダガスカル産の稀な薬用植物の先端化学的解析	200
宮下 裕幸	熊本大学大学院医学薬学 研究部天然薬物学分野	助教	トマト新規配糖体の健康科学への応用	200

2008年度 薬学系研究奨励継続助成贈呈者

《 薬 学 》

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
倉永 英里奈	東京大学大学院薬学系研究科 遺伝学教室	講師	がん細胞の生存を規定するIAP分解制御機構の遺伝学的解 明	300
近藤 昌夫	大阪大学大学院薬学研究科 生体機能分子化学分野	准教授	Claudin modulatorを用いた新規薬物送達方法の開発	300
田熊 一徹	大阪大学大学院薬学研究科	准教授	Alzheimer病発症に関わるアミロイド β 蛋白の細胞内輸送経 路の解明	300
藤田 直也	癌研究会癌化学療法センター 基礎研究部	部長	新規血小板凝集促進因子Aggrusの機能制御	300
藤室 雅弘	北海道大学大学院薬学研究科 生化学	助教	カポジ肉腫関連ヘルペスウイルスの病原性発現機構	300

2008年度 杏雨書屋研究奨励贈呈者

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
海原 亮	住友史料館	研究員	近世・近代移行期における眼科学統の特質に関する研究	50
香西 豊子	順天堂大学	研究生	池田痘科の生成と学理に関する総合的研究 ——杏雨書屋所蔵の関連書籍の分析を通じて	50
竹中 梨紗	京都大学大学院人間・環境学研究科	院生	十九世紀後半日露植物学交流史の研究 ——C.J.マクシモヴィッチをめぐって	50
丸山 裕美子	愛知県立大学	教授	江戸時代の律令学—医疾令復原研究を中心に—	50
熱 美保子	関西大学東西学術研究所	非常勤 研究員	本草書にみられる近世日本の輸入「唐薬種」	50

2008年度 シンポジウム研究奨励贈呈者

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
一色 隼人	東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学教室	大学院生	Identification and Analysis of A Substrate-specific Genetic Modulator for γ -secretase Activity	50
Douglas S. Campbell	理化学研究所	国際特別 研究員	Regulation of Axonal Arbor and Synaptic Dynamics: A Non- apoptotic Role for Caspase 3	50
斉藤 貴志	理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白質制御研究チーム	常勤 研究員	The Biological Effects of R2781-Presenilin-1 Mutation on γ - secretase Activity and Amyloid Pathology	50
殿城 亜矢子	東京大学大学院薬学系研究科 遺伝学教室	大学院生	Genetic Evidence Linking Age-dependent Attenuation of The 26S Proteasome with Age-related Neurodegenerative Diseases	50

2008年度 高等学校理科教育振興奨励贈呈者

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額(万円)
明仁 憲一	大阪府立泉尾高等学校 理科	教諭	化学・生物分野における環境教育に関する教材の開発と配布	30

氏名	所属機関	職位	研究題目	交付金額 (万円)
足立 敏	愛知教育大学附属高等学校 理科	主幹 教諭	教室で行うマイクロスケール実験の開発 ー実験目的の明確化と実験方法の確立ー	30
天野 耕二	静岡県立掛川東高等学校 理科	教諭	失われた和紙づくり全工程の再現実習と体験学習プログラム ～1枚の口述筆記文から、地元和紙の再生を試みる～	30
池田 育浩	神戸女学院中学部・高等学部 理科 化学	教諭	人工イクラの直接分光測定法の開発と化学平衡実験への応用	30
小田 裕	福岡県立鞍手高等学校 理科 化学	教諭	筑豊地区の「赤水」の調査と環境改善に関する研究	30
加藤 克美	千葉県立佐原白楊高等学校 理科 化学	教諭	『モノづくり授業』の開発、および、植物染料と薬用植物の構造的 関連性の研究	30
嘉村 均	神奈川県立希望ヶ丘高等学校 理科 情報科	教諭	効果的な演習実験の開発に関する研究 ～溶液反応の教材化を中心として～	30
川上 靖	鳥取県立博物館 学芸課自然担当 生物	副主幹	フキバッタの地理的変異とその教材化に関する研究	30
北川 雅直	広島県立安古市高等学校 理科 化学	教諭	明治、大正、昭和初期の化学教育における化学実験の調査研 究とその高校化学教育への応用	30
紀室 治	八戸工業大学第二高等学校 理科 生物	教諭	青森県の自然と施設を題材とした環境教育の実践 ～北八甲田山系と白神山地を中心として～	30
小滝 藍	埼玉県立蕨高等学校 理科 生物	教諭	マウスの標本教材の作成と活用	30
後藤 顕一	埼玉県教育局高等教育指導課 化学	指導 主事	「持続可能性な開発」を目指し実験内容を高度化する高等学 校化学有機化学実験パッケージ	30
小林 弥吉	横浜市立戸塚高等学校 理科	教諭	食糧の安定供給と安全性に対する考察(教育目的遺伝子組換 え実験よりのアプローチ)	30
小松 寛	東京大学教育学部附属 中等教育学校 理科 化学	教諭	探究的な課題で創る無機・有機のカリキュラム開発	30
佐藤 輝夫	北海道札幌平岸高等学校 理科 生物	教諭	海外帰化した海藻種の生存戦略の検証実験とその教材化と授 業実践	30
鈴木 良孝	栃木県立宇都宮工業高等学校 土木科	教諭	炭素繊維を用いた河川水質浄化の実践	30
高橋 匡之	岩手県立水沢高等学校 理科 化学	教頭	教科通信は、生徒の理科(化学)に対する興味関心を高めるの に有効である	30
田村 統	兵庫県立大学附属高等学校 理科 生物	教諭	地域の絶滅危惧種を教材化するための基礎的研究	30
徳里 政哉	沖縄県立豊見城高等学校 生物	教諭	サンゴを対象とした教材化の検討	30
中井 一郎	大阪教育大学附属高等学校 池田校舎 理科 生物	教諭	高校生による指標生物調査を通してみる大阪府の河川環境の 推移	30
肥田 宗友	秋田県立大館鳳鳴高等学校 生物	教諭	DNAレベルでのヒトの理解とそのための教材の開発	30
古本 大	同志社香里高等学校 理科 生物	教諭	高校生・高校理科教師による大阪府下の指標生物調査	30
水木 正志	山口県立岩国高等学校 理科	教諭	生徒の興味・関心を引き出す実験 ーブタの眼球と内臓を用いてー	30
武藤 紘成	熊本県立南関高等学校 理科 化学	非常勤 講師	ダニエル電池の小型化に伴い水溶液の濃度差が電気エネル ギーを発生することを検証する演習実験装置の開発	30
望月 基希	静岡県立静岡農業高等学校 農業	教諭	「光触媒」を活用した新たな施設園芸技術の開発と導入	30
盛合 浩司	富山県立砺波高等学校 理科 生物	教諭	富山県の河川に遡上するシロサケ集団のDNA解析の実践	30
矢野 幸洋	奈良女子大学附属 中等教育学校 理科	教諭	ゲノムテラシーを育成するカリキュラムの開発 ーDNA抽出実験を手がかりにしてー	30

2008年度 報彰基金研究会等の開催支援交付対象

《心臓疾患、高血圧、動脈硬化、脳血管障害、糖尿病に関する研究会等》

氏名	所属機関	研究会の名称	交付金額 (万円)
並河 徹	島根大学医学部 病態病理学	第44回高血圧関連疾患モデル学会学術総会	100

2008年度外国人留学研究者の明細

2009/3/31現在

(来日ベース)

氏名	所 属 職 位	研究機関
----	------------	------

台 湾

梁 昭鉉(Liang Jao-Shwann)	亜東紀念病院 小児科 医師	東京女子医科大学 循環器小児科
許 景盛(Hsu Ching-Sheng)	慈濟醫院台北分院 Gastroenterology主治医師	広島大学大学院 分子病態制御内科学
林 明毅(Lin Ming-Yee)	高雄榮民総医院 耳鼻咽喉科 主治医師	北海道大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
陳 雅惠(Chen Ya-Hui)	高雄榮民総医院 皮膚科 主治医師	北海道大学大学院 医学部 皮膚科
趙 安怡(Chao An-Yi)	台湾大学附設医院 麻酔科 主治医師	大阪大学大学院医学系研究科 麻酔集中治療医学講座
藍 偉仁(Lan Wei-Ren)	馬偕紀念医院 心臓内科 主治医師	国立循環器病センター 心臓血管内科
林 佳濱(Lin Chia-Pin)	林口長庚紀念医院 心臓内科 主治医師	倉敷中央病院循環器科 湘南鎌倉総合病院循環器科
小 計	7名	

タ イ

Ake-Chittra Sukkul	Makarak病院 内科 医師	新潟大学大学院 第二内科
Pornpit Treebupachatsakul	Budhachinnaraj病院 内科 医師	新潟大学大学院 第二内科
Natnicha Kanlop	Chiang Mai大学医学部 生理学	琉球大学医学部 生理学第二分野
Amporn Thongphut	Hatyai病院 麻酔科 医師	順天堂大学大学院 麻酔科
Sakchai Ruangsinn	Prince of Songkla大学 外科 医師	国立がんセンター中央病院 肝胆膵外科グループ
Jitti Hanprasertpong	Prince of Songkla大学 産婦人科 医師	埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科
小 計	6名	

フィリピン

Mariam Grace A. Delima	Uniformed Services University of the Health Sciences in USA, 外科医師	国立がんセンター中央病院 呼吸器外科グループ
Carter S. Rabo	Santo Tomas大学病院研修終了	大阪大学医学部 脳神経外科
小 計	2名	

韓 国

Il Gyu Kong	Seoul 国立大学医学部 耳鼻咽喉科、臨床講師	東京大学医科学研究所 感染・免疫大部門
Yeonyee E. Yoon	Seoul 国立大学医学部 循環器内科、臨床講師	三重大学病院 中央放射線部
小 計	2名	

中 国

劉 昇鋒(Liu Shengfeng)	湖南省人民医院 普外科 副主任	岡山大学大学院医歯薬学総合 研究科 消化器・腫瘍外科学
崔 竹梅(Cui Zhumei)	青島大学医学院附属医院 産婦人科 主任	東京医科大学大学院医学研究科 産科婦人科学
陳 慶寧(Chen Qingning)	雲南省第一人民医院 皮膚性病科 主治医師	杏林大学医学部 皮膚科学
常 桂娟(Chang Guijuan)	新疆ウイグル自治区人民医院 高血圧科 副主任	横浜労災病院 内科
楊 瑞(Yang Rui)	河南省胸科医院 影像科 主任	京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学講座
李 楽翔(Li Lexiang)	福建省腫瘤医院 放射治療科 医師	兵庫医科大学 放射線医学教室
李 博(Li Bo)	山東省千佛山医院 放射治療科 医師	京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学

氏名	所 属 職 位	研究機関
李 漢華(Li Hanhua)	四川省人民医院 消化内科 主治医師	京都大学大学院医学研究科 消化器内科
李 啓勇(Li Qiyong)	浙江大学附属第一医院 肝胆膝外科 医師	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科
鐘 寧(Zhong Ning)	山東大学齐鲁医院 消化器内科 副教授	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科
陳 申傑(Chen Shenjie)	浙江省中医药大学附属第一医院 心血管科医師	済生会横浜市東部病院 循環器内科
王 国付(Wang Guofu)	浙江医院 呼吸科 副主任	国立がんセンター中央病院 呼吸器内視鏡グループ
張 青(Zhang Qing)	西安交通大学第二附属医院 耳鼻咽喉頭頸外科 主治医師	国立東京医療センター・ 感覚器センター
李 進東(Li Jindong)	河南省腫瘤医院 胸外科 医師	国立がんセンター中央病院 呼吸器外科グループ
小 計	14名	

インドネシア

Dicky Soehardiman	インドネシア大学医学部 Dept of Respiratory Medicine	聖マリアンナ医科大学 呼吸器・感染症内科
Maria Mexitalia Setiawati	Diponegoro大学 Dept. of Child Health	東京大学大学院 理学部人類科学大講座
Susy Purnawati	Udayana大学 生理学	産業医科大学産業生態科学研究所 人間工学研究室
Ni Retno Setyoningrum	インドネシア大学医学部 眼科 医師	順天堂大学 眼科
Hirawati Ali	Andalas大学 Dept. of Biochemistry	神戸大学大学院医学系研究科 循環器内科学
小 計	5名	

ベトナム

Phan Thi Minh Ngoc	ハノイ医科大学 Dept of Physiology、講師	金沢医科大学医学部 公衆衛生学
Tran Vi Phuong	University Training Center Dept. of Anesthesiology	浜松医科大学医学部 麻酔・蘇生学講座
Nguyen Le Trung Hieu	Medical University Center Neurology Dept.	徳島大学大学院医学研究科 神経情報医学
Pham Thi Kim Lan	E Hospital 循環器科 医師	大分大学 臨床検査・診断学講座
小 計	4名	

その他

Hamady Dieng (セネガル)	Zhejiang大学 ポストドクター	福岡大学薬学部 微生物薬品化学
Maximiliano L. Suster Milgram (ベネズエラ)	国立遺伝学研究所	国立遺伝学研究所 初期発生部門
Kadir Demircan (トルコ)	岡山大学分子医化学	岡山大学大学院医歯薬学総合 研究系, 分子医化学
小 計	3名	
合 計	43名	